



たんぽぽぐみだより

2017年 1月 第4号



あけましておめでとうございます

頬に当たる北風がますます冷たくなってきましたが、子どもたちはそんなことも気にせず、元気いっぱいかけ回って遊んでいます。

今年度も残り3ヶ月となりました。これからもたくさん思い出を作り、楽しく過ごしていきたいと思ひます。



がんばったクリスマス会



歌ったり踊ったりすることが大好きな子どもたち。練習の度に「もっかい、もっかい」とリクエストするほど楽しんでいました。「ことりのうた」は、月のうたで歌ってから時折口ずさむことがありお気に入りの1曲で、毎回小鳥のようにとってもかわいく歌っていました。お遊戯「ほしぞらカーニバル」では、保育士の真似をしながら踊ったり、自分で振りをアレンジしたりと楽しく踊ることができました。間奏のところは発想力豊かな子どもたちのアイデアでした。

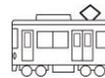
クリスマス会当日、登園時いつもと違う雰囲気泣いてしまうだろうと思っていましたが、「がんばるぞ、おー！」と笑顔で遊戯室に向かうことが出来たことにびっくりでした。幕が開き、敬老招待のクリスマス会以上の人の多さにほとんどの子がびっくりし、固まってしまうりましたが、涙を見せることなく最後までステージに立っていられた子どもたちの頑張りに拍手を送りたいです。これからも、様々なことに挑戦していく子どもたちを見守り、たくさん褒めながら保育を進めていきたいと思ひます



運動神経抜群！？

最近、大きいクラスのお友達が吊り輪や鉄棒、ジャングルジムで遊んでいると、その場所まで保育士の手を引いて連れていき「やりたい！」とアピール。まだ1人では難しいので保育士が支えながら遊んでいます。子どもたちは意外にも握る力が強く、吊り輪には10秒間ぶら下がることが出来、中には足を上げたり、30秒近くぶら下がってられる子もいます。まるで、体操選手のようにです。

また、砂山の登り降りを楽しむ姿も見られるようになりました。以前までは、登るとき保育士に手を借りたり、抱っこで頂上まで行き、降りるときにはほとんどの子が抱っこで降りていました。また、怖がって砂山に1歩も近寄らなかった子もいます。今では、手をついてくまのように登っていけるようになった子、途中で滑ってしまっても何度も挑戦する子、手をつかないで上手くバランスを取って登れるようになった子もいます。怖がっていた子どもたちも刺激されあつという間に登れるようになってしまい成長を感じました。



今日の絵カードは？



毎日行っている絵カード。動物・乗り物・食べ物の3種類があり、名前を答える前に、鳴き声や音、仕草などを真似ています。「ゴリラ」を見せると両手をグーにして胸を叩き「ウホウホッ」と鳴いたり、「自転車」は、「チリン、チリン」とベルを鳴らす音などで表現し、「りんご」が出てくると「あ！アッポーペン！」、「パイナップル」が出てくると「パイナップポーペン！」と今流行りのギャグで盛り上がっています。また、毎回反応が違い楽しい時間となり、絵カードを通していろいろな物の名前を覚えることが出来ました。

最近の子どもたちは、「これなに？」「あれは？」と興味がわいてなぜなぜ期真っ最中です。わからないことがわかる楽しさを経験できる大事な時期なので、子どもたちが納得するまで答えてあげたいと思ひます。